

可動式ホーム柵の設置について (大阪モノレール株式会社)

プラットフォームからの転落、列車との接触事故の防止を図ることを目的に、大阪モノレールでは、順次、可動式ホーム柵の設置を進めております。令和2年度（2020年度）は、少路駅に可動式ホーム柵の設置を予定しております。

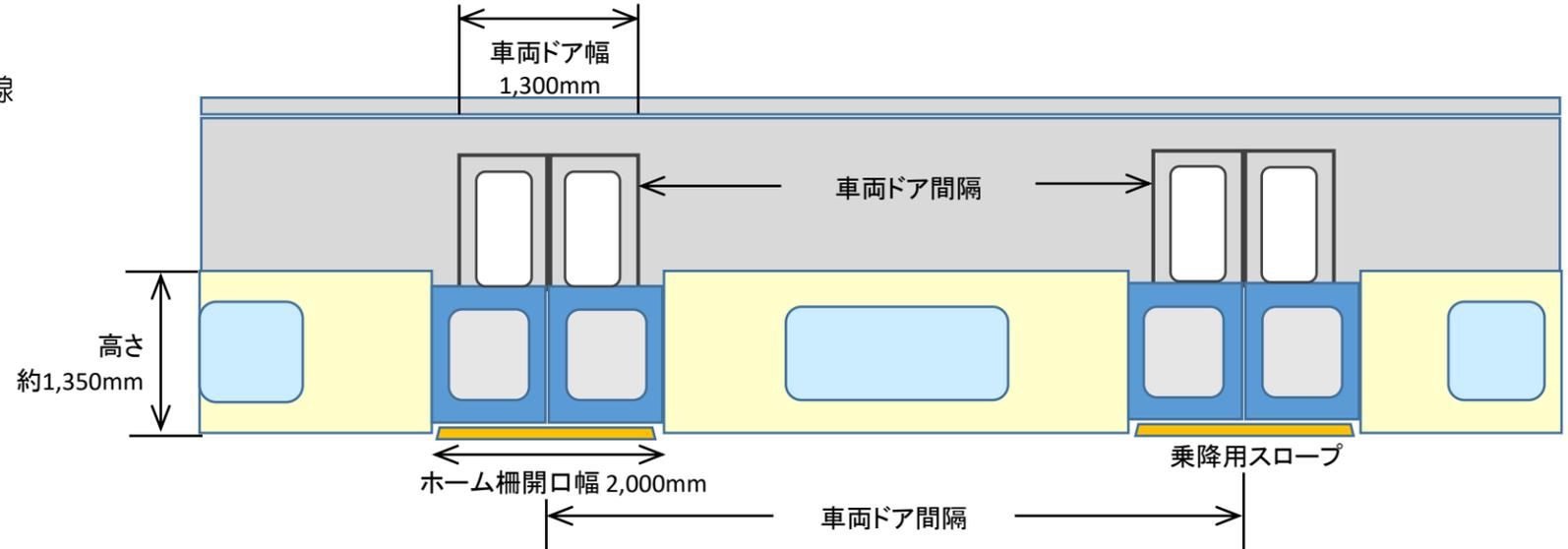
1. 現状

(1) 駅の現状

千里中央駅他16駅（万博記念公園駅除く） 島式ホーム1番線・2番線
万博記念公園駅 島式ホーム(2面3線) 1番線・2番線・3番線・4番線

(2) 電車の現状

1編成4両・車両長57.4m 8開口
1両・車両長（先頭車14.8m、中間車13.9m）



2. 設置する可動式ホーム柵の概要

(1) 可動式ホーム柵の仕様

- ①腰高式 固定部ホーム床面から約1,350mm、可動部ホーム床面から約1,200mm
- ②開口幅 2,000mm
- ③ホーム部開口数 8開口／番線

(2) 可動式ホーム柵の動作概要

- ①プラットフォームに電車が進入して、定位置停車を検知して自動的にホーム柵が開く
- ②停止している電車が扉を閉めると、自動的にホーム柵は閉じる
- ③ホーム柵開閉時には開閉音を出力する
- ④支障物検知を行う（3Dセンサ使用）
- ⑤戸ばさみ検知を行う
- ⑥異常時にはホーム柵上部にて状態表示灯を点灯させる

(3) 工期、供用開始時期および設置駅(豊中市内の駅)

- 大阪空港駅
設置済み。 令和2年（2020年）2月8日より供用開始
- 蛸池駅
設置済み。 令和元年（2019年）12月7日より供用開始
- 柴原阪大前駅
令和3年度（2021年度）に設置予定
- 少路駅
工期：令和2年（2020年）8月～令和2年（2020年）10月（予定）
供用開始：令和2年（2020年）10月（予定）
- 千里中央駅
設置済み。 令和元年（2019年）3月21日より供用開始



大阪モノレール路線図

